

関テレでBMD製品の現場活用を報告

NASとクラウド利用の新システム

ブラックマジックデザイン(BMD)製品の最新現場活用事例を紹介するセミナー「ブロードキャスト・制作現場の最新線」が10月24日、大阪市北区の関西テレビ放送本社屋内で開催された(BMD、ジャパンブロードキャストソリューションズ共催)。ここでは放送局関係者の注目度が高かったBMDの「DaVinci Resolve Replay」(以下、BMD Replay)とその裏側で活躍するSamsung SSDを報告する。



BMD岡野太郎氏によるプレゼン

◆BMD Replay 2024で発表されたBMD Replayは、今年4月のNABショーEVS社に代表される従来のターンのキー型のリプレインステムとは異なる、パンコンに起動した同社の編集ソフト(DaVinci Resolve)や収録機、ストレージ製品などを組み合わせた複数の映像をネットワークストレージ(NAS)で収録、DaVinci Resolveの編集画面でスロー再生などの操作をし、パソコンに接続されたテレビなどでインターネット経由でBlackmagic



サムソンのSSD「870 EVO」

変換機で送



リプレイシステムに新たな選択肢

安価で機動性のある仕組みを構築

Cloudなどの連携も可能だ。60フレームの映像でも滑らかなスロー再生を実現するAIフレーム補完機能

スロー再生時のカクつきを抑えるために高フレームレートに対応したカメラを使用することが一般的だが、DaVinci Resolve 19からフレーム間の画像を自動生成するAIフレーム補完機能が実装されており、BMD Replayではこの機能を利用して、滑らかなスロー再生を実現している。実際にAI補正あり/なしの映像を比較するデモもされていたが、その効果は一目瞭然であった。

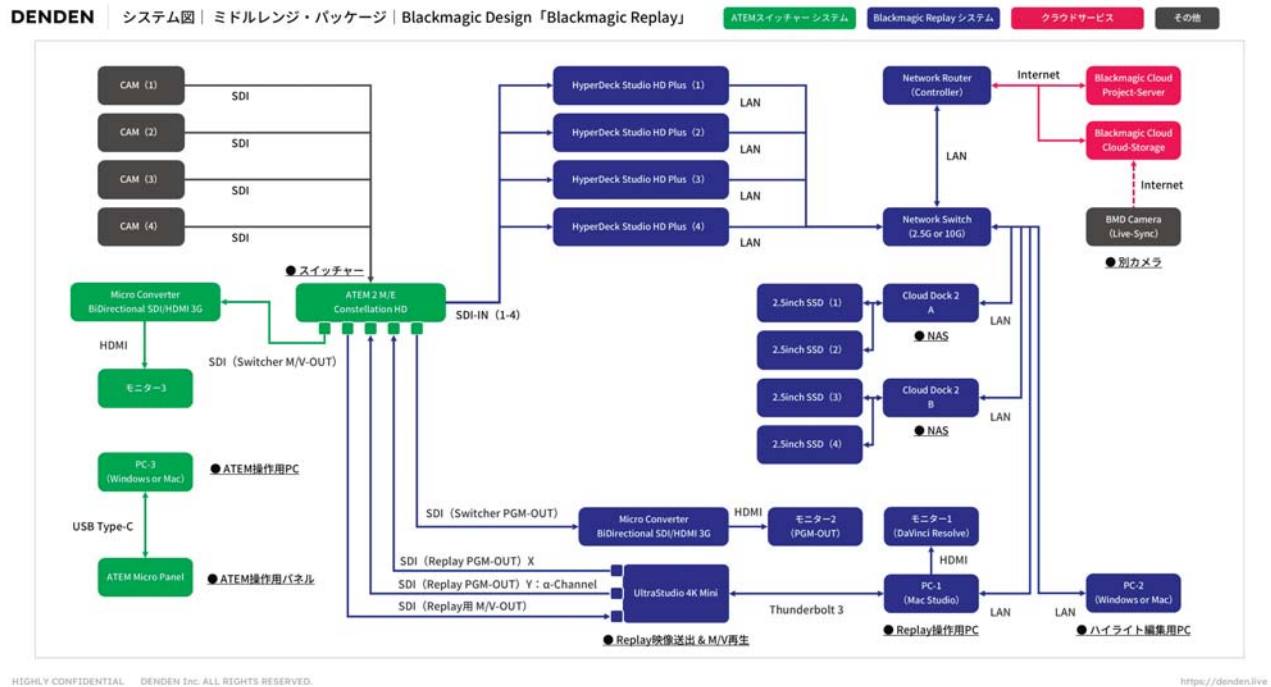
このような最新テクノロジーを採用したBMD製品と汎用SSDを組み合わせたことで、リプレイシステムを200万円以下の低コストで導入できる可能性が出てきたことは、放送局関係者だけでなく、これまで予算の問題などでリプレイシ

INTERBEEで実演

出する。また、ネットワークスイッチを介することでインターネット経由でBlackmagic

外部ストレージ収録でSD Replayのデモも実施される予定なので、興味のある方は是非足を運んで見かけるが、BMD製のEVO(2.5インチ)らしい。

◆さまざまなBMD製品で利用できるSamsung SSD ネットワークストレージでも使用できるモデルが、以前からホケシネ4Kなどのシネマカメラの増えている。今回のBMDはBMD製品で、外部ストレージ収録でSD Replayのデモも実施される予定なので、興味のある方は是非足を運んで見かけるが、BMD製のEVO(2.5インチ)らしい。



映像制作のワークフローを快適にする Samsung SSD



* 出典：2003～2024.Q1 OMDIA データ
・NAND サプライヤー売上金額シェア